平成31年１月・第90号／通巻136号

独立行政法人 国立病院機構
三重中央医療センター
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION MIE CHUO MEDICAL CENTER

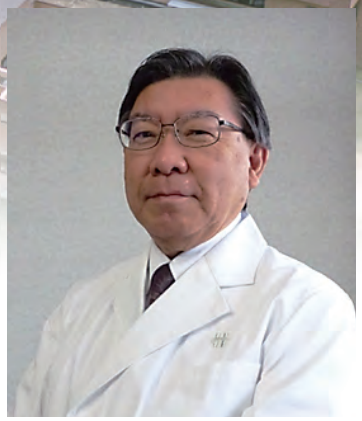
三重中央だより

MIE CHUO MEDICAL CENTER

当院の理念（Principle）●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

巻頭言 三重中央から、新しい時代にこんにちは

院長 霜坂 辰一



あけましておめでとうございます。今年1年が皆様にとりまして良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

今年は元号が変わることが予定されていますから、お正月からそわそわと落ち着きません。時の流れは途切れず、大晦日と元日は連続していて、昨日と今日ほどの違いしかないけど、元号が変われば時代が変わるという大きな期待が存在します。

現在を生きていると、変わらないことが前提で時間が流れているように錯覚します。細胞は分裂しても同じ細胞だし、動植物は親に似た子孫を残します。しかし、進化の歴史をみれば、どこかで異変が起こり、親とは似てない子が誕生して、原始生命から現在の人類まで、38億年かけて、多種多様な「種」が出現してきました。一連の時間の流れである人間の歴史においても、「明治」「大正」「昭和」「平成」と区切られると、まるで「別の種」のように、それぞれの時代が個性を主張します。

医療の歴史も、短時間で俯瞰すれば、少しの進歩しかしてないと見えますが、時代ごとに区切ると、特徴のある飛躍をしていることが分かります。昭和の医療は、名医の、「勘と経験の医療」でした。平成では、ガイドラインに添って、どこででも、同じ病気には同じ治療を行うという「標準的医療」が定着しました。

さて、来たるべき時代に、医療はどのような展開をみせるのでしょうか。平成15年にはヒト遺伝子の全配列が解明され、遺伝子解析の技術も進歩し、それに加えAI（人工知能）の発達で、個人毎に病気の詳細な分析ができるようになりました。これらのことをベースに、次の時代の医療は、個人の特徴に応じた「個別医療」、すなわち「オーダーメイド医療」の時代になるでしょう。

三重中央医療センターは、新しい時代の要請に応え、科学的に個々の病気の特徴を見極めるとともに、生き方、考え方も含めて、一人ひとりの違いを大切にして対応する「個別医療」を展開していきます。新しい時代に、三重中央からこんにちは。

循環器内科･心臓血管外科病棟　看護師長　**樫谷　典子**【1959年】

「私を支えてきてくれた人達への感謝の気持ちを」

新年明けましておめでとうございます。今年は亥年・年女ということで、このような機会を頂き、一言ご挨拶申し上げます。

何度目の年女なのかはあまり考えず、長くもあり、早かったと感じる私の看護師人生は、山あり、谷ありでしたが､自分なりに精一杯努め､看護の仕事を選んで良かったと感じています。私が看護師になりたいと夢を描いたのは小学4年生の頃でした。何の迷いもなく看護の道に進み、国立津病院に入職となりました。慣れない仕事に先輩の後ろを必死で追いかけた新人時代でしたが、当時はスポーツ大会など、病院行事も多くあり、年代を超えての交流が楽しくもありました。その後、津病院の閉鎖から三重中央医療センター開院へと移行準備に奮闘する中、病棟閉鎖は寂しいものでしたが、三重中央医療センターも昨年20周年を迎え、過ぎ行く日々の速さを実感しています。現在、循環器･心臓血管外科病棟師長として、勤務していますが、これまで様々な診療科に携わり経験を重ねるとともに､多くの人達との出会いがありました。仕事を覚え慣れることで精一杯だった頃、子育てと仕事の両立に苦悩し、自己の役割に思い悩んだ日々など決して楽な道のりではなかったと思います。しかし振り返れば、いつの日も、家族や多くの頼れる仲間に支えられてきた事、そして患者、ご家族から温かいお言葉をもらう度に｢看護師になって良かった｣と元気をもらえたことに感謝の気持ちで一杯です。

当院も災害拠点病院として役割を担うなか、地域の皆様に愛される病院になれるよう、自分なりに精一杯務め上げたいと思っておりますので､よろしくお願いします。

企画課　業務班長　**竹内　俊博**【1971年】

「安全・安心できる施設を目指して！」

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年で48歳になる年男ということで、新年の挨拶をさせて頂くという機会を頂き、嬉しく思います。

私は、平成９年に採用され、その後、国立病院機構等の病院７施設にて勤務し、平成30年４月より三重中央医療センターにて勤務しております。実は、当院で勤務するのは、２回目であり、再び三重県の地に赴任できたことは、何かの｢縁｣があるのではないかと・・・。

さて、昨年は日本各地で災害が発生しており、電気・水道等のライフラインが途絶えたというニュースがありました。当院は、災害拠点病院にも指定されていることから、ライフラインの安全性についても考慮しております。

例えば電気については、電力会社からの送電が途絶えた場合、自家用発電機(1500KVA)が備えられており、当発電機から主要部門へ電気を供給することが可能です。

また、水についても地下水をろ過して使用、300㎥の受水槽等が備えられています。

その他、備品類についても引き続き整備を進めているところです。

ただ､こうした設備は日常のメンテナンスが重要です。院内のライフラインの供給システムが災害時にも適正に稼働できるよう、安全・安心できる施設を目標とし、また初心を忘れずに、引き続き努力して参りたいと思います。

調剤主任　**山本　高範**　【1983年】

「目標に向かって勇往邁進」

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は亥年であり、年男ということでこのような機会をいただきましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は、三重中央医療センターの薬剤部に勤務して早4年目となります。この数年で薬剤部の顔ぶれは大きく替わり、今となっては私も古株となってしまいました。入れ替わりの激しい部署ではありますが、顔の見える薬剤師を目指して、一丸となって日々の業務に取り組んでいます。

薬剤師の業務は平成24年に新設された病棟薬剤業務をはじめ、多様化するチーム医療への参画、臨床研究による新たなエビデンスの構築等、年々拡大の一途となっており、その責任も益々大きくなっています。それらのニーズに対応し、さらには既存の職務の質的向上を目指し、日々精進していきたいと思います。

ところで、いのしし(亥・猪)といえば、やはり「猪突猛進」という言葉が頭に浮かぶと思います。「周囲の人や状況を考えず、一つの目標に向けて突き進んでいくこと」と、あまり良い言葉として使われることはないですが、後半部分の意味だけを取り、「勇往邁進」し、一歩ずつ着実に目標を達成できる年にしていきたいと思います。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

管理課　職員係　**家田きみか**　【1995年】

三重中央医療センターの一員として

新春のお慶びを申し上げます。

平成31年の年女ということでこのような機会を頂きましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は平成29年４月に当院の事務職員として採用となり、社会人２年目を送っています。管理課という部署で職員の出張や休暇に関する業務を担当しており、周りの人に支えられながら業務に励んでいます。

社会人１年目を振り返ると、吸収の１年だったと感じます。分からないことは調べ、上司や先輩に教えていただき、日々新しい知識を得ることができる充実した１年でした。２年目は自分で考えて業務を行う場面も少し増えたので、成長の１年にしたいという気持ちで取り組んできました。そして今年３年目は、行動の１年にしたいというのが私の新年の抱負です。まだ出来ることは少ないですが、周りには支えてくださる方が沢山いらっしゃるので、失敗を恐れずにチャレンジしていきたいと思います。

日々の業務の中で、病院は様々な職種で成り立っているということ、そしてどの職種も、患者様が安心して医療を受けられるよう熱意を持って取り組んでいるのだと実感します。私は医療を行うことはできませんが、「いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。」という当院の理念のもと、三重中央医療センターの一員として支えとなれるよう、日々精進していきたいと思います。

第72回 国立病院機構

臨床研修医2年目

佐藤　丈典

第72回国立病院総合医学会にて、Computed Fluid Dynamics（CFD）を用い動脈瘤の血栓化を予測し臨床応用した報告を若手ポスターセッションにて発表させていただき、ベストポスター賞をいただきました。英語での発表でかつ非常に難解な内容であり、指導医の先生方のご指導のもと，入念に準備を進めて参りました。非常に貴重な経験をすることができ、今後の励みにしたいと思います。

周産期病棟

藤原　久代

当院は周産期母子医療センターであり、年間多くの新生児を受け入れています。

新生児は感染リスクが高く重症化しやすいと言われています。そこで私達、新生児集中治療室（NICU）と回復治療室（GCU）では、手指消毒の徹底を行い新生児を感染から守る努力をして参りました。

今回、その成果があり賞を頂く事が出来ました。皆様のおかげだと感謝しております。

今後とも感染予防対策を強化し、より良い環境が新生児に提供できる様に努力していきたいと思います。

救急病棟

太田　美幸

脳卒中重症度評価スケールについて看護研究を行い、先日の学会にて発表させていただきました。医療の進歩に伴い治療方法も多様化し、救急や集中治療室（ICU）における看護師の役割もより重要になっています。的確な治療を行うために、迅速かつ正確な観察ができるよう医師との連携をはかり、更なる看護の質の向上を目指していきたいと思います。

医薬品情報管理主任　**鬼頭　大輔**

「全職員対象としたBCPに基づく災害時登院可能状況調査」の内容でベスト口頭賞を受賞しました。多くの職員の災害医療に対する意識が高まり、正確な調査結果を発表することが出来ました。職員が積極的に調査に参加した素晴らしいデータであり、災害意識が高い病院であると評価して頂きました。今後も迫り来る南海トラフ地震に備えて、災害医療の向上に貢献していきたいと思います。

総合医学会　表彰報告

治験主任

稲吉　隆行

過誤を分析し対策を考えた際、先行した取り組みがなかったために研究課題としました。結果、別学会での企業向けの発表と共に多くの反響を得ることができ、今回は過分な評価もいただくことができました。ご協力いただきました皆さまに感謝し、今後とも提供する医療の質を高め続けられるよう、日々研鑽致します。

企画課医事　専門職

正田　長彦

私は「日々の重症度、医療・看護必要度速報値の院内周知と評価精度向上の取り組み」について発表しました。

内容は、入院中の「重症度が高い人」の割合について、データ分析により評価精度向上を図り、見やすい集計により院内周知を行った事例となります。

今後も様々な取り組みに挑戦して、病院運営に貢献したいと思います。

退院調整看護師長

山本　弥生

病院での治療を目的とした看護から、地域・在宅における暮らしの場での看護の必要性を理解し、患者さまの生活を切れ間なく支援したい！このような思いから、2018年２月より退院前・退院後訪問を開始いたしました。

「これからは地域の支援者と共同した在宅支援が必要である」と急性期病院として当院の活躍に好評価をいただきました。これからも、皆様が安心して在宅療養できるよう支援させていただきます。

医療ソーシャルワーカー

菱谷　隆宏

第71回国立病院総合医学会において「病院機能情報の管理・運用における効率化と転院援助　－効率的で質の高い転院援助を目指して－」を発表しました。

発表を行ったセッションは、地域医療連携の展開がテーマで、多様な職種により様々な視点から地域連携の展開について発表された中、ベスト口演賞に選んでいただき心から感謝いたします。

今後も日々の臨床と研究に精進して参りたいと思います。

『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催いたしました

平成30年10月27日（土）に第５回ミエチュウオウ文化祭を開催いたしました。

今年度も看護学校の文化祭と同時開催とし、元中日ドラゴンズ立浪和義氏・今中慎二氏をお迎えしてトークショーを開催いたしました。

院内のエントランスホールでは当院のスタッフによるパフォーマンスを開催いたしました。

日々の仕事から観られる姿とは別の表情を持ち、人を想い！人に寄り添う！磨きかかったパフォーマー達です。ぜひ、来年もご覧ください。

第1回 メディカルアシスタント研修会を開催

10月６日、当院にて医師事務作業補助者(以下「MA」という。）を対象に第１回メディカルアシスタント研修会を開催しました。

この研修会は、MAが比較的新しい職種で、日々試行錯誤しながら仕事に取り組んでいることを踏まえ、MAとして従事する者を対象に、業務に関連する知識の習得および実務的内容についての研鑽を行い、円滑な業務運営を図ることを目的として開催し、近隣の他施設職員を含めた約50名が参加しました。

研修会では、はじめに８グループに分かれA4用紙20枚使いどれだけ高いタワー（ペーパータワー）を作れるか競うアイスブレイクを行いました。２回戦を行い、120秒間と90秒間でペーパータワーを作りました。グループで相談し、楽しみながらペーパータワーを作り、和やかな雰囲気となりました。

そして、医師事務作業補助研究会の矢口理事長から『MAの役割と展望について』として、MAの歴史を10年間実際に働いてきた中で感じたこと、様々な病院のMAと交流をして感じたことを交えながら振り返りました。10年前、MAはスキル不足もあり何をしていいのか分からない、一方医師は何をしてもらえばいいのか分からないという状況であったが、MAは頼まれたことはできるだけ引き受け、スキルを身につけながら頑張ってきた。その中でMAは、医師や医療専門職が専門業務に専念できる環境を作ることによって良質で高度な医療の提供に寄与するという職種としての方向性が見えてきたが、業務内容や業務水準が病院ごとに委ねられ、職種としてはまだ確立されておらず、キャリアパス形成など環境整備の課題を抱えていることなど示唆に富んだ話を聴講しました。

また、津市介護保険課の岸岡副主幹からは、介護認定を行う立場から介護認定主治医意見書の書き方について、現在の病状だけでなく、症状の安定性や介護をどの程度必要とするかについての記載があると介護認定に役立つことなど医療文書作成スキル向上につながる話を聴講しました。

どちらも具体例を交えた分かりやすい講演で、今後につながる様々なヒントを得られた有意義な時間となりました。今後も定期的に本研修会を開催して、日々の業務の中で習得したい知識や業務に必要なスキルを中心に研鑽を積んでいくこととしたいと思います。

我が故郷 津

産婦人科病棟看護師
井 上 明 美

新年あけましておめでとうございます。

私は幼少期から現在までを津市で過ごしています。私の地域は、近年では住宅地も増え、県内二番目の大型スーパーができ、活性化していることや、家から少し高台へ上がれば日本鋼管が見渡せ、とても見晴らしの良いことが自慢です。

また、田畑も多く、八十年近く続いた「たいまつおくり」という、農作物につく害虫を駆除すると共に豊作を祈願する行事がありました。現在はたいまつが不足しているため行事はなくなりましたが、幼少期には私も祖父の作ったたいまつを持ち参加しました。休日には生まれ育った津市を離れ県外へ出かけることもあり、帰りの電車から見える自然豊かな景色に心を和まされ、田んぼを見るたびに幼少期の思い出が懐かしく感じます。

私は生まれ育った地域に貢献するために附属の看護学校を卒業した後、当院に就職しました。私が看護師を目指した理由は当院に母が入院したことでした。入院中の看護師の関わりをみて魅力を感じ、私も人の役に立ちたいという思いが強くなりました。

現在は母の手術をしてくださった先生のもとで共に患者を支えられる立場になり、何かのご縁を感じています。まだまだ学ぶことも多いですが、今後も看護に貢献できるよう努めていきたいです。

輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

治験管理室　治験コーディネーター　**見田　久美**

私たち治験コーディネーター（CRC）は患者様に対し医師と共に治験内容の説明をしたり、被験者の方の不安や心的負担を軽減するためにケアやサポートをさせていただいています。

患者様へ治験の説明の際には、わかりやすい言葉での説明を心がけ、質問・相談の時間を大切にしています。

ほかにも、治験期間中は被験者様の負担を考慮したスケジュール調整や、検査データや服薬状況などをチェックし副作用等の確認をしたり、治験がスムーズに進むよう他部署間の連絡・調整も行っています。

新薬開発の一端を担い、新薬の登場を待ち続ける多くの患者様に貢献できる･･･
これがCRCの仕事の魅力です。

「里山こころの便り－榊原の窓から」

榊原病院
院長
村田昌彦

ストレスへの対処

今回はストレスへの対処法についてのお話です。このお便りを手にされるときはとても寒い時期と思いますし、寒さもストレスでした。暖房のスイッチを入れるなど、このような物理的なストレスは環境を整えれば改善されますが、心理的なストレスはスイッチ一つで改善されません（叱っている上司を止めるスイッチがあればパワハラはなくなるのでしょうけど）ので、私たちが対応する必要があります。

対応策として、まずストレスから離れることができれば、楽になります。苦手な人に無理に付き合うのではなく、距離を置くとストレスは減ります。距離を置くことができなければ、感じる辛さを減らす方法を考えましょう。きちんと休息をとりましょう。さらに、家に帰ってから、静かに横になって目を閉じてゆっくり右手～右足～左足～左手とイメージすることによって自律神経が整ってきます。つらい時は自律神経が不安定となりやすいので、整えることで体が楽になります。また、仮に叱られたとしてもそこに理由があるかもしれない、理由があるのなら自分のことを嫌っているのではないだろう、と考えることで気持ちが楽になることがあります。これらは自律訓練法や認知療法的な考え方です。

ストレスのない社会は日本の中ではおそらくないでしょう。ですので、つらさを和らげることは、私たちの環境に適応するために大切なことです。ストレスをため込むとメンタルの免疫機構もしんどくなります。少しずつ対応してつらくならない健康的な生活を保ちましょう。

新生児集中ケア認定看護師
副看護師長 廣野絵美・看護師長 栗本淳子

こんにちは。専門・認定看護師です シリーズ 13

「口腔ケア」は、歯周病予防のために欠かせません。また、全身の抵抗力が弱まった時にも感染症を起こさないために「口腔ケア」は大切です。私たち、新生児集中ケア領域でも「口腔ケア」を大切にしています。抵抗力の弱い赤ちゃんは、カンジダ菌によって口腔内や舌が白くなる「鵞口瘡（がこうそう）」にかかりやすいです。授乳後に口腔内や舌にミルクのカスが残り、「鵞口瘡（がこうそう）」と間違える場合もあります。ミルクのカスは取れますが、「鵞口瘡（がこうそう）」の白い部分は擦っても取れないのが特徴です。そのため、私たちは赤ちゃんたちの口の中をきちんと観察することを大切にしています。また、「鵞口瘡（がこうそう）」の予防として赤ちゃんに使用する玩具や乳首、おしゃぶりを清潔に保つようにしています。

そして、お口からミルクを飲めない赤ちゃんに健康な菌をつけるため、お母様が一生懸命搾っていただいた母乳をお口の中に塗布しています。私たちは、日々新生児の口腔内を清潔に保つため頑張っています。

「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター　地域医療連携室

編集後記

今年は「亥年」、『猪突猛進』と目標に向かって突き進むイメージがあるが、陰陽五行思想では生まれた年で性格も違い、自身の“己亥”は繊細で取り越し苦労が多く臆病とのこと。

今年一年、勇気を出して頑張ろう！と思う。

（博）

発行所
三重中央医療センター
院長　霜　坂　辰　一
三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059−259−1211
http//www.miechuo-hosp.jp/

三重中央医療センター連携医療機関紹介

信　岡　医　院

ホームページ：http://nobuchipepo.com

当院は名張市桔梗が丘にて、３代にわたって診療を行ってまいりましたクリニックです。場所は国道165号線より少し南へ入ったところで、山之手バス停のそばにあります。当院では一般内科診療を主軸とし、地域の皆様の健康で元気な暮らしをお手伝いするとともに、皆様から信頼される医院であることを目指しています。是非お気軽にご来院ください。

院　　長：信岡　亮
診療科目：内科・小児科
住　　所：〒518-0625　名張市桔梗が丘5－10－45
電　　話：0595－65－0023　FAX：0595－65－0023
休 診 日：木曜午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
9：00～13：00	○	○	○	○	○	○	
17：00～20：00	○	○	○		○	○	

医療法人　井口小児科

当院は昭和59年に小児科医院として開業しました。平成25年から、医師２人体制で診療をおこなっています。ワクチン接種、健診は予約診療とし、小児に多いアレルギー疾患は、長くアレルギー診療にたずさわっていた医師が主に担当しています。スタッフ一同、地域の子供たちが健やかに成長されるように願って日々診療にたずさわっています。

理 事 長：井口　恵子
院　　長：井口　光正
診療科目：小児科
住　　所：〒515-2324　松阪市嬉野町1455-3
電　　話：0598－42－2900　FAX：0598－42－2900
休 診 日：木曜日、土曜午後、日曜・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
9：00～12：00	○	○	○		○	○	
15：00～17：00	○	○	○		○		

三重県厚生農業協同組合連合会　大台厚生病院

当院は、清流・宮川が横断し豊かな森林に囲まれ茶畑が広がる大台町にあります。昭和31年の開設以来、この地域で公的医療機関として地域医療に貢献することを基本理念として歩んでまいりました。平成27年４月に新築移転し、地域包括ケア病床の増床、電子カルテシステムの導入、80列ＣＴの導入、および29年４月には循環器内科を開設し病院機能を充実させました。また、人工透析治療にも力を入れており、紀勢地域では唯一、透析治療を行う医療機関としての役割を担っております。さらに、リニューアルした手術室では、整形外科の医師により人工骨頭挿入術や人工関節置換術等の手術を行っています。

今後も地域から信頼される病院づくりを推進し、紀勢地域の中核病院として健康と福祉の充実に努めてまいります。

院　　長：中井　久太夫
診療科目：内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科、
　　胃腸内科、泌尿器科、眼科、皮膚科、
　　耳鼻いんこう科
住　　所：〒519-2403　多気郡大台町上三瀬663－2
電　　話：0598－82－1313
病 床 数：110床（一般57床、療養53床）
　　※一般病床のうち16床は地域包括ケア病床
医 師 数：常勤７名、非常勤７名

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
8：30～11：30	○	○	○	○	○		
13：00～15：00	○	○	○	○	○		

おおにし呼吸器・糖尿病内科　呼春の森診療所

ホームページ：http://www.koharunomori.com

2018年５月に開院した、新しい診療所です。三重大学病院での診療経験をもとに、呼吸器・アレルギー・糖尿病・内分泌の専門領域を主とした内科診療を提供させて頂きます。専門性の高い診療内容を、より易しく、より多くの方々にお伝えすることが私たちの役目であると考えます。また責任をもって、逆紹介先としての役割も担います。難しい言葉は使いません。難しい顔もしません。スタッフ一同、あたたかい診療を提供できるよう心掛けたいと思います。詳しくは、公式ホームページもご覧下さい。

院　　長：大西　真裕（１診）
副 院 長：大西　悠紀（２診）
診 療 科：呼吸器・アレルギー疾患、
　　糖尿病・内分泌疾患
住　　所：〒514-0061　津市一身田上津部田1581－1
電　　話：059－233－0024
休 診 日：火曜日午前（１診）、
　　木曜日午後・金曜日午前（２診）
　　土曜日・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日･祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○		
14：00～17：00	○	○	○	○	○		

外来診療担当表

2019年１月１日現在

診療科名等			月	火	水	木	金
初診内科（初診・予約外）		1診	井端　英憲【呼】	大本　恭裕【呼】	中久木　哲也【循】	田中　剛史【糖】	川崎　敦【循】
		2診	竹内　圭介【消】	武内　哲史郎【循】	田口　由紀子【消】	田中　淳子【循】	後藤　浩之【糖】
		3診	新谷　卓也【循】	倉田　一成【消】	坂倉　康正【呼】	渡邉　典子【消】	北出　卓【消】
		4診	小野　隆裕【内】	奥田　昌也【糖】	渡邉　麻衣子【糖】	西村　正【呼】	内藤　雅大【呼】
	（整形３診）			山田　悠貴【循】		吉川　恭子【消】	
再診内科（再診予約のみ）	呼吸器内科	5診				井端　英憲（午後再診）	
	循環器内科	5診	田中　淳子	川崎　敦		中久木　哲也（午前再診）	武内　哲史郎
	呼吸器内科	6診		井端　英憲	井端　英憲	大本　恭裕	大本　恭裕
	（整形1診）			藤本　源			
	消化器内科	7診	子日　克宣	北出　卓	渡邉　典子	田口　由起子	竹内　圭介
	内科	8診	中久木　哲也【循】	新谷　卓也【循】	後藤　浩之【糖】		新谷　卓也【循】
		9診	後藤　浩之【糖】	田中　剛史【糖】	田中　剛史【糖】	田中　崇【糖】	田中　剛史【糖】
		10診			内藤　雅大【呼】	奥田　昌也【糖】	岡野　智仁【呼】
	（整形２診）					渡邉麻衣子【内】	
	腎臓内科	（外科２診）				村田　智博	
脳神経内科		1診	北川　長生	北川　長生	北川　長生	大内　智洋	北川　長生
		2診	大内　智洋	賀川　賢	賀川　賢	賀川　賢	吉丸　公子
小児科・新生児科（初診・再来初診は紹介のみ）（NICUフォロー発達外来は予約のみ）	午前	1診	井戸　正流（初診）	小川　昌宏	井戸　正流（初診）	田中　滋己	田中　滋己（初診）
		2診	NICUフォロー	大森　あゆ美	交代制	大森　あゆ美	NICU連携外来
		3診	田中　滋己	田中　滋己（初診）	山下　敦士		小川　昌宏
		4診（発達外来）	杉野　典子	交代制	杉野　典子	杉野　典子	発達支援
	午後	1診	NICUフォロー	NICU乳児健診（交代制）	内薗　広匡	田中　滋己（奇数週）	佐々木　直哉（偶数週）
		2診	大学医師（1・3週） 森あゆみ（2・4・5週）	杉野　典子 （2週間・1ヶ月健診）	杉野　典子	内薗広匡（1、３週） 神谷雄作（2、4、5週）	小川　昌宏
		3診	小川　昌宏	山下　敦士 （心エコー外来）	小川　昌宏	小川　昌宏	シナジス外来（交代制）
		4診（発達外来）	杉野　典子（奇数週）	発達支援	発達支援	発達支援	発達支援
総合診療科						近藤　諭	
外科		1診	湯淺　浩行	谷川　寛自	横井　一	信岡　祐	谷川　寛自
		2診	横井　一		松田　明敏		
		（泌尿器１診）	信岡　祐（午前）				
緩和ケア外来（予約・紹介のみ）							谷川　寛自
乳腺外科（予約のみ）							野呂　綾
整形外科（予約・紹介のみ）		1診	田中　雅		高北　久嗣		田中　雅
		2診	高北　久嗣		山口　敏郎		山口　敏郎
形成外科					石浦　良平		
脳神経外科		1診（初診）	石田　藤麿	辻　正範	谷岡　悟	田中　克浩	石田　藤麿（偶数週） 辻　正範（奇数週）
		2診（再診）	霜坂　辰一	石田　藤麿	霜坂　辰一	谷岡　悟	田中　克浩
脊椎・脊髄外科（予約・紹介のみ）							倉石　慶太
呼吸器外科				安達　勝利		樽川　智人	安達　勝利
心臓血管外科			浦田　康久		佐藤　友昭		日置　巌雄
皮膚科＊（予約・紹介のみ）			中西　朝子	三重大学医師（再診）	中西　朝子	三重大学医師	中西　朝子
泌尿器科		1診		加藤　雅史	加藤　雅史（初診）	西井　正彦（午前診療） 加藤　雅史（午後診療）	西井　正彦（初診）
		2診		長谷川　嘉弘（初診）		長谷川　嘉弘（初診）	長谷川　嘉弘
産科・婦人科	午前	1診（初診）	神元　有紀	大里　和広	大里　和広	吉村　公一	山口　恭平
		2診（婦人科再診）	山口　恭平	大阪　優	吉村　公一	大阪　優	二村　涼
		3診（産科再診）	永橋　裕子		神元　有紀	永橋　裕子	
		4診（助産師外来）	毎日、完全予約制（担当は交代制）				
	午後	1診（産科再診）	神元　有紀		神元　有紀	吉村　公一	山口　恭平
		2診（婦人科再診）	山口　恭平		吉村　公一		
		3診	助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来
眼科（予約のみ）			三重大学医師		三重大学医師		
耳鼻咽喉科	午前			西田　幸平	伊藤　由紀子（初診）	伊藤由紀子／西田幸平	西田　幸平
	午後（再診予約のみ）		伊藤　由紀子	中耳外来		中耳外来	
放射線科（７ブロック）			奥田　康之	奥田　康之	奥田　康之	奥田　康之	奥田　康之
リハビリテーション科			山口　敏郎	田中　雅	田中　雅	田中　雅	高北　久嗣
歯科・歯科口腔外科			柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／三重大歯科医者	柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／加藤英治
看護外来（予約のみ）			第1月曜日　透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日　透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来

＊初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30 ～ 11:00までです。　＊医師の人事異動・出張等により臨時に代診（休診）となる場合があります。
＊当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約（自費）
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	毎日 午前診療	金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科（新谷）	消化器内科（竹内）	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科（吉丸）	脳神経外科（石田）
脊椎・脊髄外科専門（要予約・紹介）	肺癌・良性肺腫瘍・気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来（予約）	プレママ外来	おっぱい外来（予約）	乳腺外科（予約）
金曜日 （10時～ 12時30分）	火・木・金曜日 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科（倉石）	呼吸器外科	耳鼻咽喉科（伊藤）	産科・婦人科		乳腺外科（野呂）